

令和 3 年度

宮城県医師会医師会夏期医学講座

（日本医師会生涯教育講座）

日時：令和 3 年 8 月 7 日（土）午後 3 時

場所：宮城県医師会館

主催：宮 城 県 医 師 会

共催：宮城県医師会協同組合

プ ロ グ ラ ム

1. 開 会

2. 挨 拶

3. 講 演

「COPD の病態と治療—最近の話題—」

東北大学大学院医学系研究科呼吸器内科学分野教授

杉 浦 久 敏 先生

「循環器疾患の新たなエビデンスを世界へ」

東北大学大学院医学系研究科循環器内科学分野教授

安 田 聡 先生

4. 閉 会

COPD の病態と治療 ―最近の話題―

東北大学大学院医学系研究科呼吸器内科学分野教授

杉 浦 久 敏

慢性閉塞性肺疾患（以下、COPD）は慢性の気流閉塞を特徴とする呼吸器疾患で本邦の潜在患者数は 500 万人以上に上るといわれている。日本人男性の死因の第 8 位であり、毎年、18,000 人の患者が死亡している。COPD の病態、治療に関する本邦のガイドラインは第 5 版が 2018 年に上梓され、日常臨床の重要な指針となっている。本講演会では COPD ガイドライン第 5 版で示された定義、病態、診断、治療方針について概説する。COPD の病態では、新たな COPD 発症の病因として肺の低成長が報告され、本邦における COPD の定義が変更になったが、その基礎となった重要な疫学データについて紹介する。また、COPD の治療において気管支拡張薬は治療の根幹をなす重要な治療薬である。気管支拡張薬が呼吸機能や息切れ症状に及ぼす効果について概説する。さらに、近年、COPD の予後予測因子として注目されている身体活動性と気管支拡張薬の効果について併せて解説したい。COPD ガイドライン第 5 版が発刊され 3 年が経過している。この間、数多くの興味深いエビデンスが報告された。とりわけ、長時間作用型抗コリン薬、長時間作用型 $\beta 2$ 刺激薬、吸入ステロイド薬の 3 剤配合薬に関する興味深いデータが蓄積してきている。本講演では、3 剤配合薬の大規模試験である IMPACT 試験と ETHOS 試験について紹介する。3 剤配合薬は COPD 患者の増悪を抑制する観点から強力な治療薬であるが、同時に吸入ステロイド薬は、重症 COPD 患者では肺炎を引き起こす可能性がある。今回は、3 剤配合薬の対象となりうる COPD の患者像を明らかにし、どのような COPD 患者に本剤を用いるべきかについて解説する。現在、COPD ガイドライン第 6 版を作成中であり、来春に発表予定となっている。COPD ガイドライン第 5 版以降のエビデンスを基に今後の COPD の新たな治療戦略についても私見を述べたい。

MEMO

循環器疾患の新たなエビデンスを世界へ

東北大学大学院医学系研究科循環器内科学分野教授
安 田 聡

日本循環器学会（JCS）から、『2020 年 JCS ガイドラインフォーカスアップデート版・冠動脈疾患患者における抗血栓療法』が 2020 年 3 月に発表された（Circ J 84: 831-865, 2020.）。本邦では高齢患者が多いことに加え、欧米よりも出血リスクが高く、血栓リスクは低いことが特徴とされている。このような日本人の特性を考慮し、新ガイドライン改訂のハイライトは、冠動脈インターベンション施行患者の血栓リスクと出血リスクのうち、出血リスクをより先行して評価する設計になっている点にある。出血評価の基本となるのが、国際学術研究コンソーシアム（Academic Research Consortium : ARC）によって策定された高出血リスク：High-Bleeding Risk (HBR)判定基準である。この ARC-HBR 基準が本邦でも十分適応できることを我が国のレジストリデータを用いて検証したうえで、低体重、フレイル、透析を含む慢性腎臓病、心不全ならびに末梢血管疾患を盛り込んだ実臨床により即した HBR 評価基準が設定されたことも新ガイドラインの特徴である。我が国からクリニカルクエスチョンに答える臨床的知見が次々と報告されている。ステント血栓症に対する DAPT 期間の短縮(STOPDAPT-2 試験)や安定冠動脈疾患を合併した心房細動症例に対する抗凝固薬単剤療法 (AFIRE 試験, Yasuda S, et al. N Engl J Med 381: 1103–1113, 2019.) 等 less is more レジメンに抗血栓療法のコンセプトは大きく転換してきている。このような知見は世界でいち早く超高齢社会を迎えた日本ならではのクリニカルニーズから生まれたものである。今後も、抗血栓療法に関するエビデンスが構築されていくことを期待したい。

MEMO
